

Lavabo LV2シリーズ
Lavabo *Plus* PVシリーズ
QV series QVシリーズ

もくじ

1. 安全上のご注意	
安全上のご注意	2
2. 取付・設置上のお願	3
3. 取付・設置の事前確認	
(1) 取付・設置部位の建築側の仕様確認	3
(2) 設置場所の水平・垂直・直角等のレベルの確認	3
(3) 建築側の間口・取合い寸法の確認	3
(4) 補強棧の取外しについて (対面収納戸棚：オープンタイプ)	3
(5) 床面の仕上げについて	4
(6) 製品の荷受け確認	4
工事区分	4
4. 取付・設置手順	
(1) 引き出しの取外し、取付け	5
(2) 吊戸棚・上置戸棚の取付・設置	6
(3) トールキャビネットの取付・設置	7
(4) 対面収納戸棚の取付・設置	8
(5) キャビネットどうしの連結	8
(6) 扉の調整方法	9
(7) ロック機構について	10
(8) 引き出し前板の調整方法	11
(9) コーキング	11
5. 仕上げ	
(1) 清掃	12
6. 点検	
(1) 安全点検	12
7. 完了後の処置	
(1) 商品の養生について	12
(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法	12
8. 残材処理	
(1) 梱包材その他残材の処置	12

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書はサニタリーファニチャーのものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

1. 安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

警告

吊戸棚の設置は建築側の構造を確かめて正しく行う。



落下して、けがをするおそれがあります。

製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。



製品が落下して、けがをするおそれがあります。

組み込まれる機器・水栓などについては、それぞれの取付・設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。

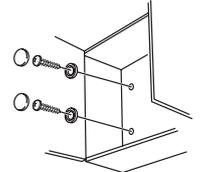


思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

キャビネットの固定は付属の取付ネジ（コーススレッドφ4.2×65）をワッシャーに通し、背面の穴より壁面に確実に固定し指定位置以外に固定しない。

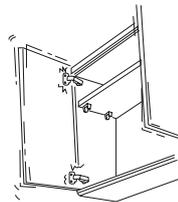


指定位置以外で固定すると、製品が落下して、けがをすることがあります。



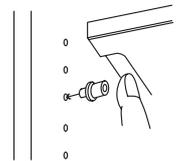
注意

取付・設置完了後は、扉のがたつきやゆるみのないことを必ず確認する。



使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

棚板を設置する時は、棚受を隙間のないよう根元まで確実に差し込む。



棚板がはずれ収納物が落下してけがをするおそれがあります。

2. 取付・設置上のお願い

お 願 い

清掃時には台所用中性洗剤を使用してください。



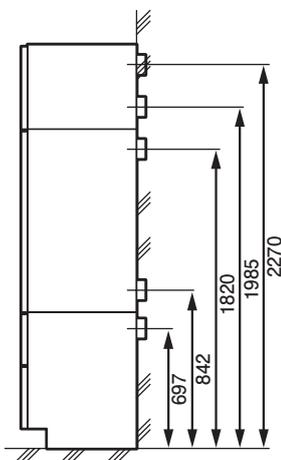
その他の洗剤及びベンジン・シンナー等の溶剤やみがき粉等の使用は、製品の変色・変質の原因となります。



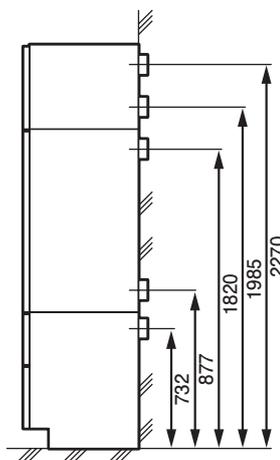
3. 取付・設置の事前確認

(1) 取付・設置部位の建築側の仕様確認

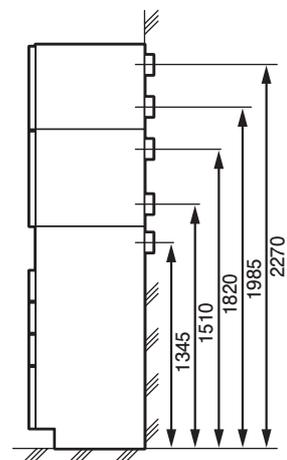
製品を設置しようとする壁面には、取付位置に補強がされていることを確認してください。



LV2シリーズツールキャビネット



PVシリーズツールキャビネット



対面収納戸棚

⚠ 注 意

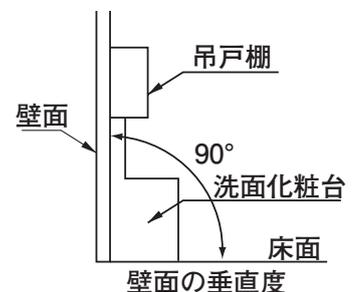
- 製品は、水平で平滑な床面にしっかりと固定する。

製品が倒れて、けがをするおそれがあります。



(2) 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認

- ・ 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルを確認し、床面上の木クズ・ゴミなどは取り除いてください。
- ・ 洗面化粧台を設置する床面及び壁面に凹凸があると、扉や引出しに段違いが生じますので、必ず平滑に仕上げてください。

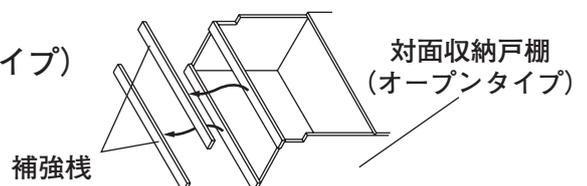


(3) 建築側の間口・取合い寸法の確認

- ・ 製品の設置場所の間口、取合い寸法を確認してください。
- ・ 壁の横に引き出し付きのキャビネットを設置する場合は、扉、取手及び引き出しがドア枠、ドア、ドアノブ、見切り等に当たらないかどうかをご確認ください。

(4) 補強棧の取外しについて(対面収納戸棚:オープンタイプ)

対面収納戸棚(オープンタイプ)は、輸送時の揺れ・破損防止の為、底面に補強棧を仮固定していますので、設置前に取り外してください。



3. 取付・設置の事前確認

(5) 床面の仕上げについて

製品搬入前に床面を仕上げてください。
特に対面収納戸棚（オープンタイプ）の場合は、下部ユニット設置によりかくれる部分まで床面を仕上げてください。

(6) 製品の荷受け確認

注文通りの製品が納入されているかどうか、製品の損傷・付属品の不足はないかなどの製品の荷受け確認をしてください。

付属部品	トールキャビネット 間口15cm		トールキャビネット 間口25/30/45cm		対面収納戸棚 間口75cm		吊戸棚 間口65/75cm 上置戸棚 間口15/25/30/45cm	吊戸棚 間口 90/100/120cm
	上部 ユニット	下部 ユニット	上部 ユニット	下部 ユニット	上部 ユニット	下部 ユニット		
コーススレッド φ4.2×65	2本	1本	4本	2本	4本	2本	4本	5本
コーススレッド φ3.8×28	4本	2本	4本	2本	4本	6本	2本	2本
トラスタッピンネジ φ3.5×13	—	4本	—	4本	—	—	—	—
連結ワッシャー	6個	3個	8個	4個	8個	8個	6個	7個
化粧キャップ	6個	3個	8個	4個	8個	8個	6個	7個
棚受け	12個	4個	8個	—	4個	—	4個	4個
棚板	3枚	1枚	2枚	—	1枚	—	1枚	1枚

工事区分

警告

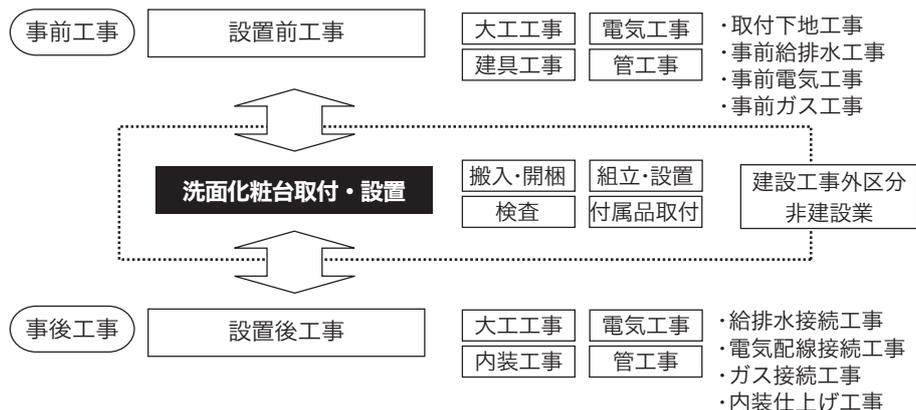
◎ 本説明書は、洗面化粧台の本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事（給排水）、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。

建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。

流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「洗面化粧台本体取付・設置」を区別して行ってください。



洗面化粧台の取付・設置とユニット工事区分



4. 取付・設置手順

(1) 引き出しの取外し、取付け

引き出しの取外し、取付けをする際は以下の要領で行ってください。

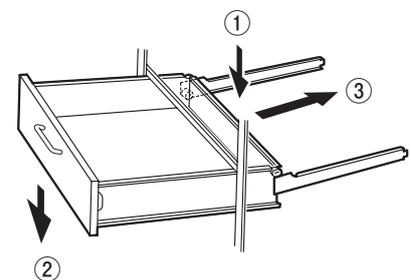
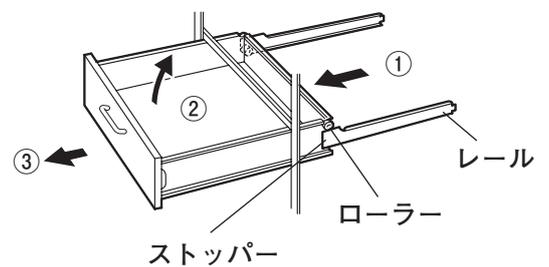
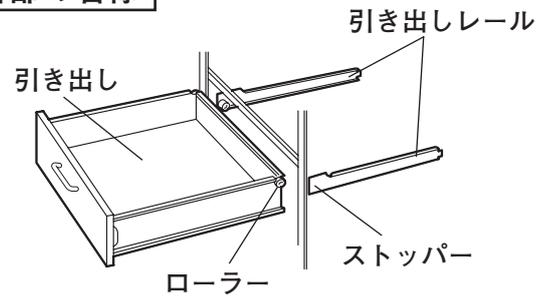
●取外し方法

- ①引き出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
- ②ストッパーに当たりましたら、引き出しを上を持ち上げます。
- ③引き出しを手前に引きます。

●取付け方法

- ① 引き出しを両手で持ち、ローラーを引き出しレールに差し込みます。ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
- ② ストッパーが引き出しレール側のローラーを乗り越えたら、引き出しを水平にします。
- ③ 水平に押し込みます。

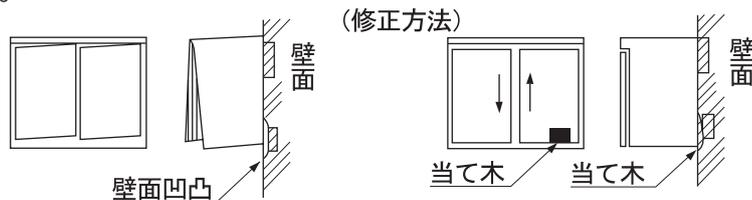
各部の名称



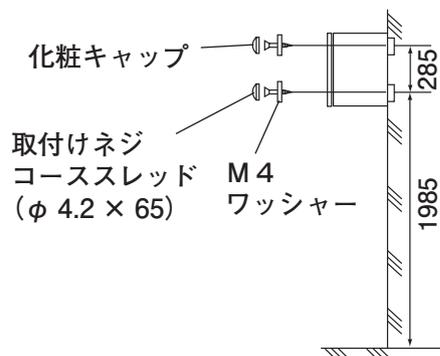
4. 取付・設置手順（続き）

(2) 吊戸棚・上置戸棚の取付・設置

- 吊戸棚を取付ける際は、吊戸棚が水平、垂直となるように取付けてください。水平でないと、扉に段違いが生じることがあります。
- 吊戸棚を取付する壁面に凹凸があると、扉に段違いが生じますので、壁面は必ず平滑にしてください。
- 扉の段違いが生じた場合は壁面と吊戸棚の間に当て木（ベニア等）を入れて調整してください。



- 吊戸棚の固定は付属の取付ネジ（コーススレッド $\phi 4.2 \times 65$ ）をワッシャーに通し、背面の固定用穴より壁面に確実に固定してください。取付ネジのワッシャーに化粧キャップを取付けます。

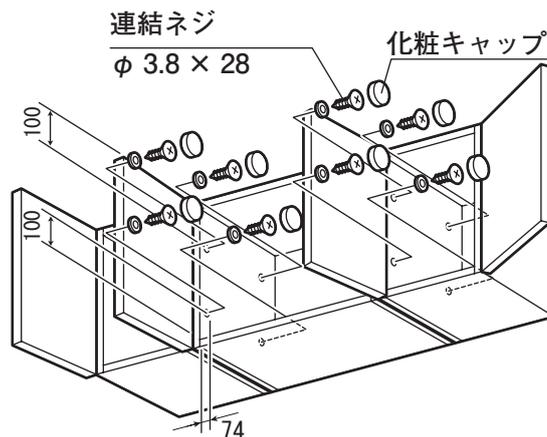


- 左右に吊戸棚がある場合は、付属のネジ（コーススレッド $\phi 3.8 \times 28$ ）で必ず連結してください。

⚠ 警告

- キャビネットの固定は付属の取付ネジ（コーススレッド $\phi 4.2 \times 65$ ）をワッシャーに通し、背面の穴より壁面に確実に固定し指定位置以外に固定しない。

指定位置以外で固定すると、製品が落下して、けがをすることがあります。



⚠ 注意

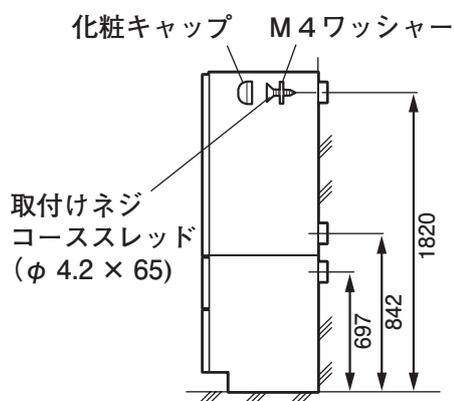
- 製品取付けの際に取外した扉、棚板は直接床に置かないでダンボール等で養生した場所に置く。

床や扉・棚板に傷がつくおそれがあります。

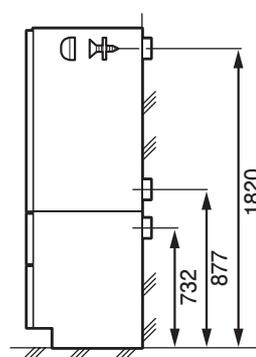
4. 取付・設置手順（続き）

(3) トールキャビネットの取付・設置（PV・LV2シリーズのみ）

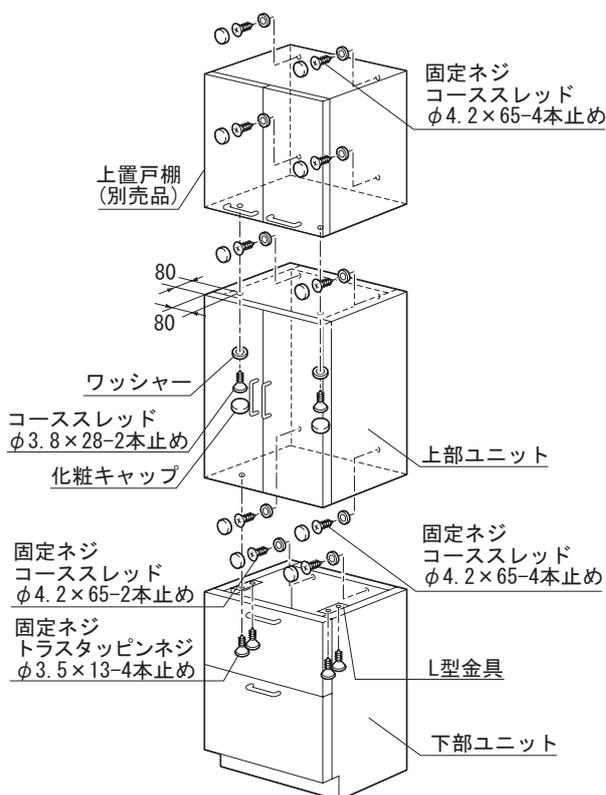
- ① 下部ユニットを設置後、上部に上部ユニットを仮置きし、前後左右の位置を調整後、下部ユニットの側板に取付けてあるL型金具のネジ穴より上キャビネットに向かって固定ネジ（トラスタッピンネジφ 3.5 × 13）で固定してください。
- ② 下部ユニット・上部ユニットの背面の固定穴より固定ネジ（コーススレッド φ4.2×65）で壁面に確実に固定してください。
- ③ 製品設置終了後、別売の上置戸棚を設置する場合は、上置戸棚をトールキャビネット上部に仮置き前後左右の位置を調整後、上置戸棚に向かってトールキャビネットの内側より連結ネジ（φ 3.8 × 28）とワッシャーで固定し、ネジ頭に化粧キャップを取付けてください。
- ④ 連結後、(2) 吊戸棚・上置戸棚の取付・設置を参照し、上置戸棚を壁面に確実に固定してください。



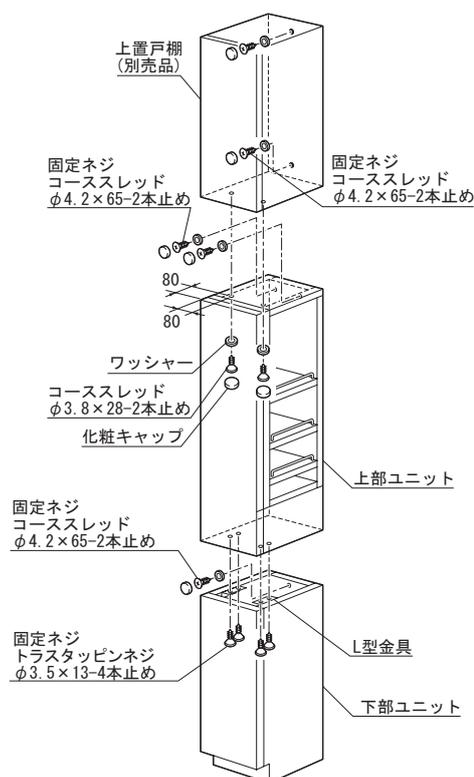
LV2シリーズトールキャビネット



PVシリーズトールキャビネット



間口 25/30/45cm の場合

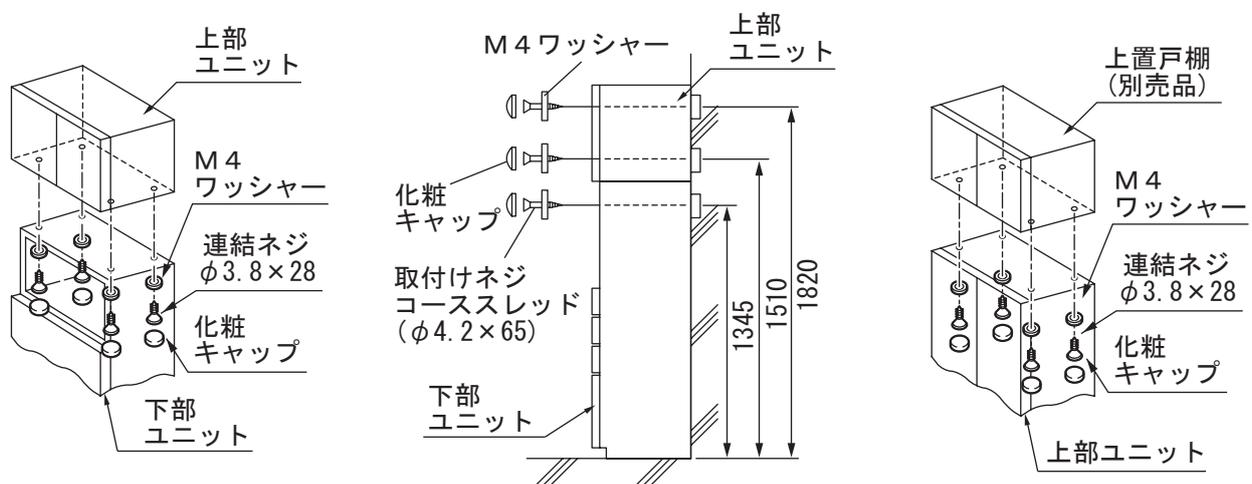


間口 15cm の場合

4. 取付・設置手順（続き）

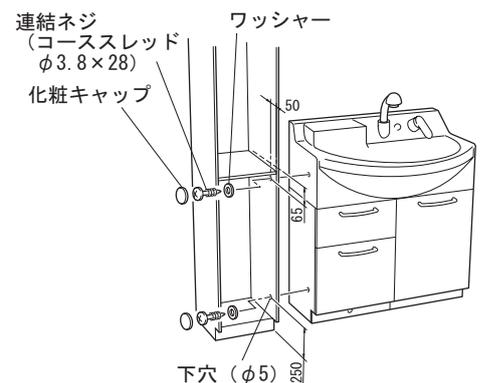
(4) 対面収納戸棚の取付・設置（PV・LV2シリーズのみ）

- ① 上部ユニットを下部ユニット上部に仮置き前後左右の位置を調整後、上部ユニットに向かって下部ユニットの内側より連結ネジ（ $\phi 3.8 \times 28$ ）とワッシャーで固定し、ネジ頭に化粧キャップを取付けてください。
- ② 連結後、上部ユニット及び下部ユニットそれぞれの製品内部から、付属の取付けネジ（コーススレッド $\phi 4.2 \times 65$ ）とワッシャーで確実に固定し、ネジ頭に化粧キャップを取付けてください。
- ③ 製品設置終了後、別売の上置戸棚を設置する場合は、上置戸棚を対面収納戸棚（上部ユニット）に仮置き、前後左右の位置を調整後、上置戸棚に向かって対面収納戸棚（上部ユニット）の内側より連結ネジ（ $\phi 3.8 \times 28$ ）とワッシャーで固定し、ネジ頭に化粧キャップを取付けてください。
- ④ 連結後、(2) 吊戸棚・上置戸棚の取付・設置を参照し、上置戸棚を壁面に固定してください。



(5) キャビネットどうしの連結（PV・LV2シリーズのみ）

- キャビネットの側板に下穴2ヶ所（右図参照）をあけキャビネット連結ネジ（コーススレッド $\phi 3.8 \times 28$ ）で連結してください。ネジ頭には化粧キャップを取付けてください。
- ※ 間口 15 cm・W 25 cm・W 30 cmのキャビネットの場合は、洗面台側から固定してください。



4. 取付・設置手順（続き）

(6) 扉の調整方法

床面の修正が困難な場合などで扉の段違い調整が必要なときには、スペーサーによる調整方法と丁番による調整方法があります。

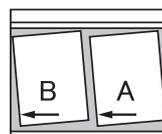
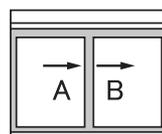
●スペーサーによる調整方法

床面と洗面化粧台との間にスペーサー（例えばベニヤ板の切端やブリキ板の切端）を入れて調整してください。

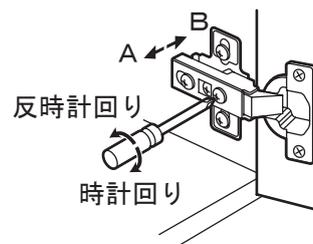
●丁番による調整方法

①左右傾きの調整をする場合

左右調整ネジを回すことで調整が行えます。左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がAに動きません。

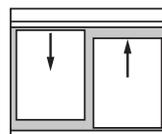


左右調整ネジ

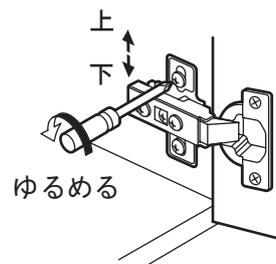


②上下の調整をする場合

2ヶ所の上下調整ネジをゆるめます。扉を上下に動かして、扉の調整をします。調整後はネジをしっかり締め付けてください。

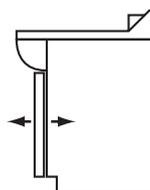


上下調整ネジ

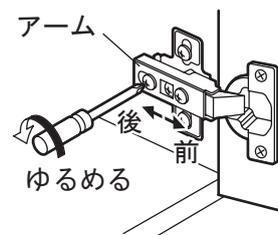


③前後の調整をする場合

前後調整ネジをゆるめます。アームを前後に動かして、扉の調整をします。調整後はネジをしっかり締め付けてください。



前後調整ネジ
(丁番固定ネジ)



⚠ 注意

- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。
扉が落下して、けがをするおそれがあります。



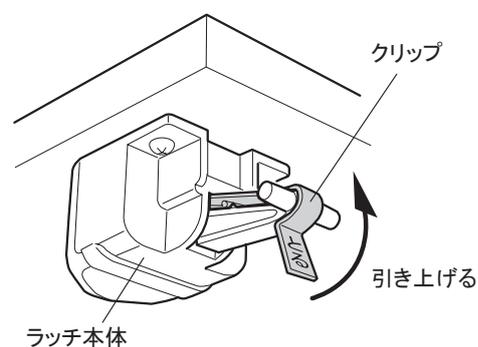
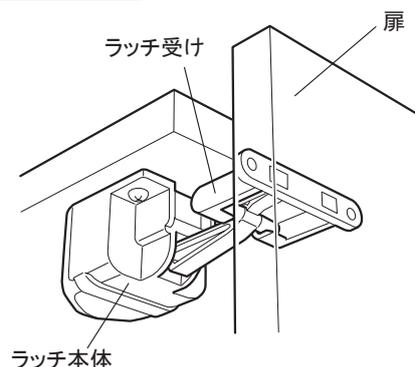
4. 取付・設置手順（続き）

(7) ロック機構について（PV・LV2シリーズのみ）

- 製品出荷時には、輸送及び取付中のロック防止の為、ラッチ本体に黒色のクリップが取付けてあります。壁面取付後に下記の方法にてクリップを除外してください。
- 吊戸棚が壁面及び床面に対して水平・垂直になっていることを確認してください。水平・垂直に取付いていないとロック機構が作動し、扉が開かなくなります。
(ラッチ本体が、左右で1.6°、前後で2°以上傾くとロック機構が働きます。)

- クリップの取外し方法
キャビネットを壁面取付後、クリップ下部のつまみを持ち、手前上方に引き上げるようにして取外してください。

各部の名称



⚠ 注意

- クリップを必ず取外す。
取外しないとロック機構が作動しません。

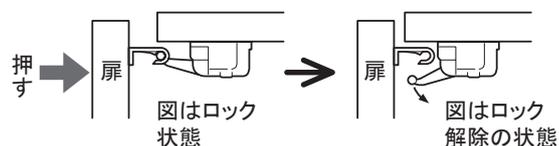
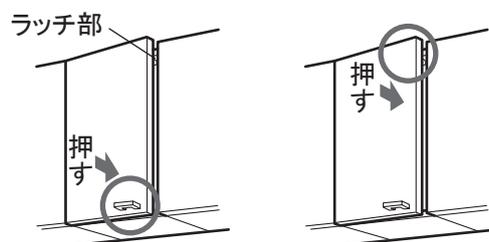


ロック機構の解除方法

ロックが作動し扉が開閉できなくなった場合は、「カチッ」と音がするまで扉の下部または扉の上部を強く押して下さい。(図-1)

※ 解除されない場合は、扉の下にタオルを当て、持ち上げるようにして扉の上部を押し込んでください。

- 地震で躯体（壁や床など）にゆがみが生じている場合は、正常に解除できないおそれがあります。
- 一度解除しても、また開かなくなる場合は、キャビネットが傾いている可能性があります。設置店へ連絡してキャビネットの水平・垂直を出してください。



⚠ 注意

- ラッチ本体を外したり、分解しない。
ロック機構が働かなくなったり、扉が開かなくなってしまうことがあります。



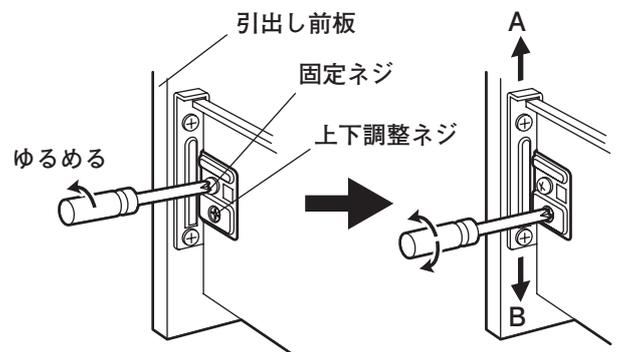
4. 取付・設置手順（続き）

(8) 引き出し前板の調整方法 (PV・LV2シリーズのみ)

上下調整をする場合

- 左右両方固定ネジをゆるめます。
- 上下調整ネジを時計回りに回すと引き出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引き出し前板がA方向に動きます。
- 調整後は固定ネジをしっかりと締め付けてください。

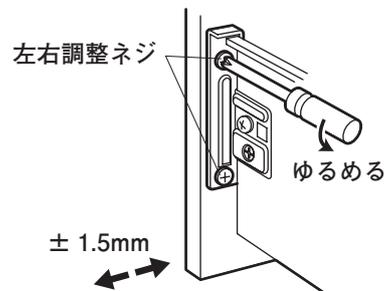
各部の名称



左右調整をする場合

- 左右両方の左右調整ネジをゆるめ、前板を左右に調整してください。
- 調整後は、左右調整ネジをしっかりと締め付けてください。

※上下調整ネジは左右両方の引き出しレールについています。



(9) コーキング

- 壁面及びトールキャビネットに接する部分は、必ずコーキング処理してください。

⚠ 注意

- コーキング処理はすきまのないよう
確実に行う。



コーキング処理が不完全ですとすきま部分より水が進入し、キャビネットが腐食するおそれがあります。

5. 仕上げ

(1) 清掃

- ・ ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- ・ 汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて、軽く拭いた後、水拭きしてください。
- 水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。

お 願 い

清掃時には台所用中性洗剤を使用してください。

その他の洗剤及びベンジン・シンナー等の溶剤やみがき粉等の使用は、製品の変色・変質の原因となります。



6. 点検

(1) 安全点検

- ・ 取付・設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- ・ 扉や引き出し前板に傾きがないこと、ガタつきや緩みのないこと、及び正常に作動することを必ず確認してください。

7. 完了後の処置

(1) 商品の養生について

- ・ 製品および組込機器などは、お引渡しまでの間キズ、汚れがつかないように覆いをしておいてください。

(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法

- ・ 製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

8. 残材処理

(1) 梱包材その他残材の処置

- ・ 不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。

株式会社ハウステック

東京都板橋区板橋3-9-7 板橋センタービル 〒173-0004 Tel.03-5248-5500 www.housetec.co.jp